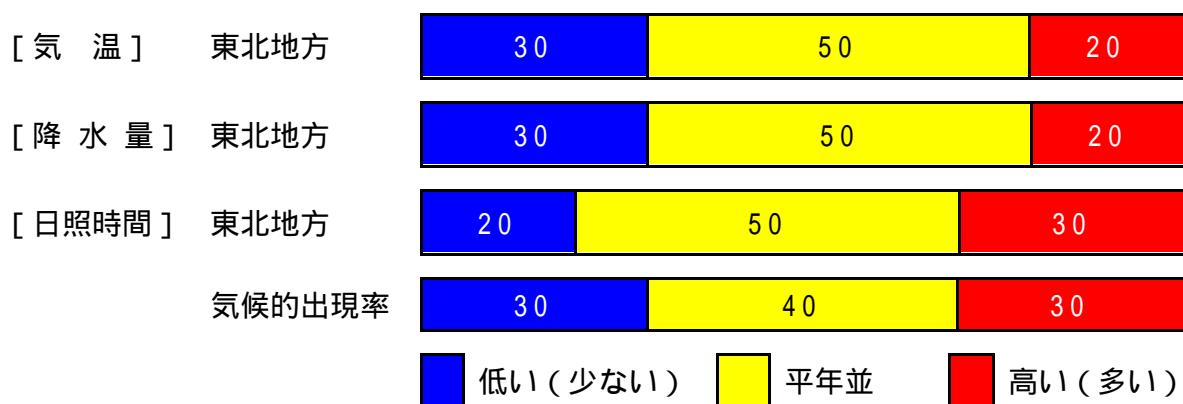


# 東北地方 1か月予報の解説(予報期間:4月29日~5月28日)

平成12年4月28日 仙台管区気象台

## 1. 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)



[気温]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい可能性は「低い」で、その確率は30%です。「高い」の確率は20%と小さい。

[降水量]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい可能性は「少ない」で、その確率は30%です。「多い」の確率は20%と小さい。

[日照時間]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい可能性は「多い」で、その確率は30%です。「少ない」の確率は20%と小さい。

## 2. 予想される天候の特徴

(もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。)

向こう1か月

東北地方は、この期間低気圧と高気圧が交互に通り、天気は周期的に変化するでしょう。しかし、寒冷低気圧の影響で天気のぐずつく時期もある見込みです。また、寒暖の変動が大きく、降霜の恐れもあります。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数は、東北地方で約19日です。

## 各予報期間の天候の特徴

- 1週目…………… 東北太平洋側では期間の中頃に気圧の谷の影響で、天気がくずれる  
 (4月29日～5月5日) でしょう。その他の日はおおむね晴れる見込みです。  
 東北日本海側では、明後日(30日)頃に晴れるほかは、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。  
 平均気温は平年並の見込みです。  
 平年の晴れ日数は東北地方で約4日です。
- 2週目…………… 低気圧と高気圧が交互に通り、天気は周期的に変化するでしょう。  
 (5月6日～5月12日) 低気圧による天気のくずれは小さく、移動性高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。  
 平均気温は平年並の見込みです。  
 平年の晴れ日数は東北地方で約5日です。
- 3～4週目…………… 低気圧と高気圧が交互に通り、天気は周期的に変化するでしょう。  
 (5月13日～5月26日) 平均気温は平年並の見込みです。  
 平年の晴れ日数は東北地方で約9日です。

## 予想される天候に関する循環場の特徴(アンサンブル平均天気図)

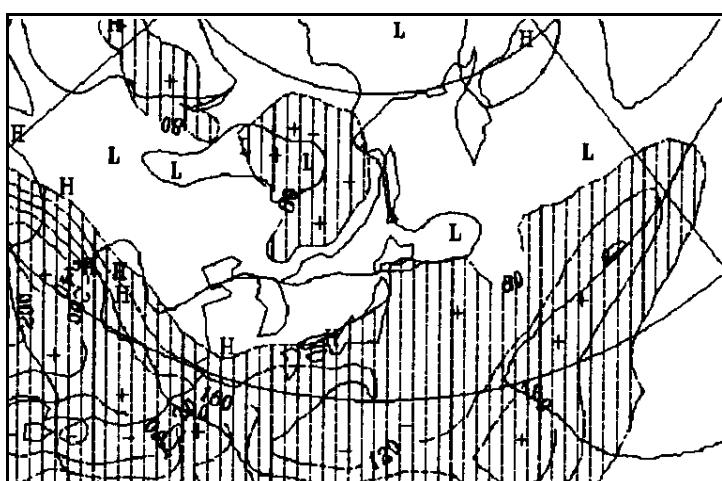


月平均の500hPa高度・偏差  
 (等高度線: 60m毎、偏差: 30m毎、陰影部: 負偏差)

### ・500hPa高度・偏差

月平均でみると、日本付近の中緯度帯は日本の東海上に中心をもつ負偏差に広く覆われる。一方、極東域の高緯度帯は、気圧の尾根となっており正偏差。

週別(図略)にみると、1週目にこの傾向が顕著だが、2週目以降その程度は弱まる予想。ただし、モデルは初期場にブロッキングがあるとそれを解消しようとする傾向がある。



月平均の地上気圧と降水量  
 (等圧線: 4hPa毎、降水量: 40mm毎、陰影部: 80mm以上)

### ・地上気圧と降水量

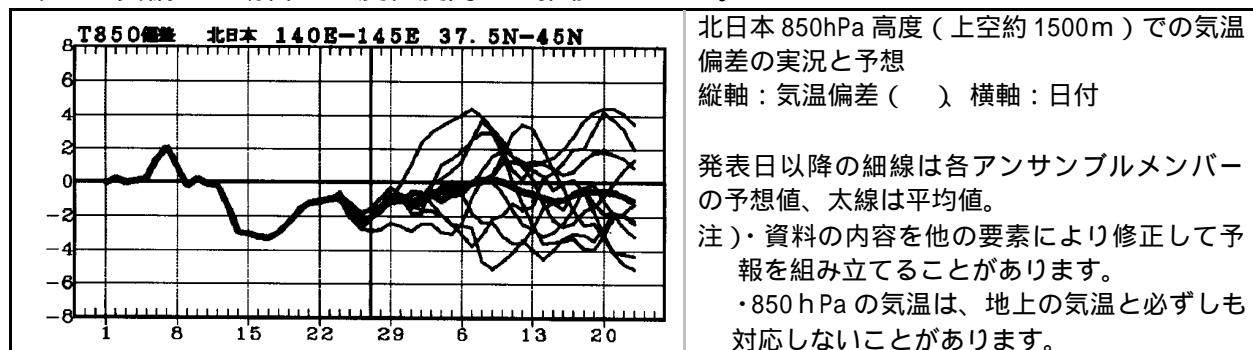
月平均でみると、日本の南から東シナ海にかけて前線帯に対応する降水域がひろがり、北海道付近には東西に低圧部が広がる。本州付近は特徴がなく、基本的に天気は周期変化するが、北海道付近の低圧部に対応する寒冷低気圧の影響で天気のぐずつく時期がある見込み。

週別(図略)では、1週目は月平均とほぼ同じ気圧配置。2週目は関東以西が高気圧に広く覆われ、降水域も日本の南に南下する。3～4週目は本州南岸から東シナ海にかけまとまった降水域が広がる。

### 3. 北日本 850 hPa の気温平年差の実況と各アンサンブルメンバーの予想

北日本 850 hPa の気温平年差は、アンサンブルメンバーの平均でみると、予報期間中平年を上回ることはないと、ほぼ平年並で経過する見込み。ただし、1週目後半以降メンバー間のばらつきが大きくなる。

なお、最近の実況経過から見ると、東北地方の地上気温平年差は、北日本 850 hPa の気温平年差が負偏差の場合には 2 度程度高めに推移している。



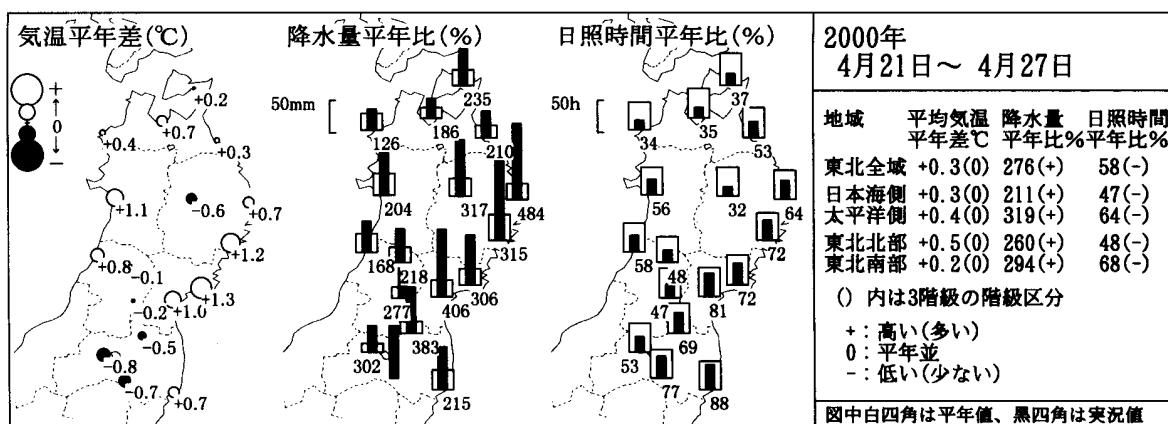
注：1か月予報では、よく似た初期値から出発した10個の数値予報結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します（この手法をアンサンブル予報といい、10個の予報結果のそれぞれをアンサンブルメンバーといいます）。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

### 4. 最近1週間（4月21日～4月27日）の天候の経過

この期間、低気圧が次々に通過したため、東北地方は曇りや雨の日が多くなった。特に、21日から22日にかけては三陸沖を低気圧が発達しながら北上したため、岩手県を中心に大雨となり、北上川の水位が警戒水位を超えて川崎村で冠水、岩手県南部でJR各線の運休や市道・県道の冠水による通行止めなどの被害が発生した。

さくら（ソメイヨシノ）の開花は、盛岡で22日（平年より2日早い）と平年並、宮古で23日（平年より3日遅い）とやや遅く、八戸で25日（平年より1日早い）と平年並だった。

平均気温は、東北地方で平年差+0.3と平年並だった。降水量は、東北地方で平年比276%と平年より多かった。日照時間は、東北地方で平年比58%と平年より少なかった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）